

平成29年度壱岐市立勝本小学校
第6学年
国語科教材別指導事項対応表

平成29年度壱岐市立勝本小学校 第6学年 国語科教材別指導事項対応表		4月	5月	6月	7月	書写	9月	10月	11月	12月	書写	1月	2月	3月	書写		
		支度	カレー・ライス	漢字の書き方	春のいぶき	笑うから楽しい	時計の時間と心の時間	河鹿の屏風	夏のさかり	書写	漢字の広場	「資料」イーハ	秋の深まり	漢字の中の言葉	表現を選ぶ	漢字の広場	書写
時数		1	1	6	1	2	1	5	10	2	5	1	2	13	3	1	1
話すこと・聞くこと	話すこと	1							10								4
	聞くこと		3	1	2					1	2	13					10
	読むこと	1	2		1	5		5	1								9
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項																	10
話すこと	話題設定や取材	ア	考えたことや伝えたいことがなどから話題を決め、収集した知識や情報を闇にすること。	○						11	1	2	3	1	2	7	1
	話すこと	イ	目的の意図に応じて、新規や明確に伝えるう語の構造を工夫しながら、確に応じた切きり言葉で話すこと。							22	3	1	8	1	2	6	1
	聞くこと	ウ	共通語や方言との違いを理解し、また、必要に応じて共通語で話すこと。							15	1			7	6	5	1
	話し合うこと	オ	話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べて考えまとめること。											○			1
言語活動例	ア	資料を提供しながら説明や報告をしたり、それを聞いて助言や提案をしたりすること。												○			1
	イ	調べたことやまとめたことについて、討論などをすること。												○			1
	ウ	事物や人物を推薦したり、それを聞いたりすること。												○			1
書くこと	話題設定や取材	ア	考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて書く手順を収集し、全体を見通して事柄を整理すること。											○			1
	構成	イ	自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。											○			1
	記述	ウ	事実と感想、意見などを区別することに、目的や意図に応じて簡潔に書いたり詳しく書いたりすること。											○			1
	推敲	オ	引用したり、図表やグラフなどを用いてりして、自分の考えが伝わるように書くこと。											○			0
	交流	力	書いたものを使い合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。											○			0
	言語活動例	ア	経験したこと、想像したことなどを基に、詩や短歌、俳句をつくり、物語や小説などを書いたりすること。											○			1
	イ	自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりすること。												○			0
	ウ	事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書くこと。												○			0
読むこと	音読	ア	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすること。	○							1	○		○			2
	効果的な読み	イ	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。								0		○				0
	説明的な文章	ウ	目的に応じて、文書の内容を読み取るや解釈をしたり、事実と感想、意見などを区別するなどして、自分の考えを整理すること。								1		○			1	
	文学的な文章	オ	登場人物の相互關係や心情、事象についての描写をとらえ、書かれた経緯について自分の考えをまとめる。	○							2			○			1
	自分の考えの形成及び発展	ア	本や文章を読んで考えを工夫し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。								1			○			2
	目的に応じた読書	イ	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。								1			○			0
	言語活動例	ア	伝記を読み、自分の生き方にについて考えること。								0		○				0
	イ	自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。								1			○			1	
	ウ	編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。								0			○			0	
	エ	本を読んで推薦の文章を書くこと。								1							0
伝統的な言語文化	(1)ア	伝統的な言語文化	ア	読みやすい古文や漢文、近代以降の文語訳の文章について、内容の大体を知り、音読すること。							0			○		2	
	イ	古典について解説した文章を読み、昔の人のものを見方や感じ方を知ること。								0			○			0	
	(1)イ	言語の特徴	ア	話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。							0						0
	言語の特徴	イ	時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。							0			○			1	
	ウ	送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。								0						0	
	エ	語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに心をもつこと。								0	○					1	
	オ	文章の中での語句と語句との関係を理解すること。								1						0	
	オ	語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。	○							2			○			1	
	キ	文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。								0			○			0	
	ク	日常よく使われる敬語の使い方に慣れること。								0			○			1	
	ケ	比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。								0						1	
	(1)ア		第5年生及び高学年においては、学年別学年担当の担当学年までに配布されている漢字を読むこと。							2			○			2	
	イ		こと。また、当該学年の前年の年までに配布されている漢字を、文や文章の中などで読みことに、当該学年に							1			○			0	
	ウ		用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや排列などを決めるとともに、書く漢字を意識して書くこと。							0			○			2	
	文字	イ	仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。							1						1	
	(2)書写	ア	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや排列などを決めるとともに、書く漢字を意識して書くこと。							0	○		○			3	
	イ	筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。								2			○			2	